



いたわり

2010年2月号 No.109
くすりのキュート(救)健康新聞

くすりのキュートの健康教室

第12回 「緑の輝きバスツアー」 ← 毎回大好評です

〈日時〉 2月15日(月) 午前10時～午後3時
くろし工業九井工場見学 → 自然食バイキング「ティア」

第223回 「くすりのキュート王名店健康教室」

〈日時〉 2月25日(木) 午後2時～3時
〈場所〉 くすりのキュート王名店 2階 健康教室

第48回 「くすりのキュート植木店 健康茶話会」

〈日時〉 2月末予定 (詳しくは店頭にてお尋ね下さい)
〈場所〉 くすりのキュート植木店 店内

お客様体験談

お客様のTさんが来店され、上の息子さんが今年受験生なので、体力のつくものを下さいと言われたので「BCEx503」と「源液」のことをお話ししてお勧めしました。その時スタッフの田中さんが自分の息子さんが高校生の時バイク事故を起こし「源液」のお陰で命が助かったお話をしたら……
Tさんが突然、泣き出されたのです!! びっくりしたのでおが、泣かれたのは理由があって、Tさんの下の息子さんR君が小学校6年生の時に足の具合が悪くなり、ちょうど1年くらい前に、知人から聞かれてキュートの「酸素カプセル」に入りに来られていました。R君は足を少しひきずって歩いていました。早く回復する為「酸素カプセル」に加えて「源液」もお勧めして、何本か続けて飲まれていました。
今回、来店されて初めてその時の事を詳しくお話されたのですが……実はその当時R君は足の軟骨が溶び出して来て病院からは「両ひざから下も切断しなくてはならない」とまで言われていたのです!!
それが「源液」を飲み「酸素カプセル」に入り、しっかりリハビリをしたとこで今は部活が出来る程に回復しました!!と涙ながらにお話されました。その時の不安や心配はどれ程大きかった事でしょう。
Tさんが今でも涙ぐむ気持ちでよくしゃべります。しかし足を切断しなくてはならなかった程だったのがよく治ったのはまさに奇跡!!です。本当に本当に本当に良かったです。



輸入食品の真実

日本の食料自給率は40%以下です。しかし私達の日常の食生活ではその事はほとんど自覚できません。スーパーには食料品が並び、外食産業やコンビニで手軽に食事を済ませる事ができる。まさに「食の時代」です。しかし、確実に私達は輸入食品に取り囲まれ、それに気が付かないだけなのです。日本は世界最大の輸入食品大国です! 私達は流通している食品は、食品の安全性は確保されているという前提で購入しています。しかし、輸入食品に関して言えば、その9割が輸入時の検査を受けずに輸入され、日本国内に流通しています。

「はまぐり」 95%が輸入 (中国産97%)

日本の伝統的食文化を支えてきたはまぐりが、輸入に依存しなければならぬ事態です。問題はそれだけでなくA型肝炎ウイルスが輸入貝類を通じて感染しているという事です。しかし輸入はまぐりのA型肝炎ウイルスの検査は一切行われていません

「大豆」 97%が輸入 (アメリカ75%、ブラジル14%)

自給率わずか3%! 輸入大豆の94%は油の原料に、残りは、みそ、しょうゆ、豆腐、納豆、豆乳などに使われています。輸入大豆は赤道上の暑い所を船で何ヶ月もかけて輸送されます。虫が湧く為「ポスハーベスト」と言って、収穫後にする農薬を船の中で何度もしなければなりません。また遺伝子組み換え大豆の安全性も疑問視されています。

「そば」 79%が輸入 (中国84%、アメリカ12%)

江戸時代、そばは全て国内産だったのに今や自給率はわずか21%。国内流通のそばの8割が輸入そばという事になります。そば輸入されるそばの84%が中国産です。中国産そばからは05年10月に基準値を上回る、自然界で最も最強の発がん性物質である「アフラキシンB」が検出された後、翌年には残留農薬が2回も検出されています。

「玉ねぎ」 30%が輸入

輸入相手国は、中国、アメリカをはじめ10ヶ国にのぼりますが輸入玉ねぎはスーパーや店頭には並びません。ほとんどがレストラン向けやレストラン、冷凍にパスタなどを作る業務用として販売されています。値段は国産玉ねぎの半値と言われています。

「エビ」 90%が輸入

日本は世界一のエビの輸入国です。ウナギと同様に養殖に大量に抗生物質を使うので、残留性が危惧されています。

「鶏」 102万羽輸入

現在、日本の鶏卵の自給率は94%。日本では数少ない自給品なのです。しかし養鶏場で卵を産む鶏は「コマナシ採卵鶏」として、できるだけ多く卵を産むように改良されていて、アメリカやイギリスなどの世界的な企業によってほとんど生産されています。卵の自給率94%も、もとを正せばひなを輸入に頼るという形で海外に依存しているのです。

